

鴨助堰 2 号幹線 大規模雨水処理施設整備事業計画

(様式 1)

項 目	内 容 ・ 施 策 等
選定理由	鴨助堰排水区 2 号幹線は、元来は用排水兼用水路として整備され、下水道施設として移管を受けて地域の浸水防除を担っている雨水幹線である。整備以降 50 年以上の年月が経過し老朽化が進行している状況にあることから、施設の適切な機能確保を図り浸水被害を防止するため、集中的な雨水処理施設の改築を実施する必要がある。
整備目標	<p>① 本計画における対象降雨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本計画におけるハード・ソフト含めた対象降雨：68mm/hr</li> <li>・ 目標とする理由：令和 6 年 8 月 27 日に盛岡地方気象台で記録した既往最大降雨 68mm/hr</li> <li>・ ハード整備による整備水準の目標：37mm/h (1/8 確率降雨)</li> </ul> <p>② 目標設定</p> <p>i) 個人財産の保護の観点：整備予定幹線沿線の家屋 48 件の床上浸水を防止する。</p> <p>③ ハード対策、ソフト対策及び自助の役割分担について</p> <p>i) ハード対策</p> <p>施設整備により 37mm/h (1/8 確率) の降雨において浸水被害を防止することを目的とする。</p> <p>ii) ソフト対策及び自助</p> <p>【実施済】施設整備で対象とする降雨量を上回る想定最大規模降雨 120mm/h の降雨において、下水道管理者による内水ハザードマップ作成・公表などの情報提供し、事前防災により被害をできるだけ小さくする。</p>

項 目	内 容 ・ 施 策 等			
内水ハザードマップ策定状況	・ <u>有</u> (令和 5 年 4 月 策定済み)			
主な事業内容 (該当あるものについて記載)	公助	ハード対策	下水道管理者	・ 雨水管渠の整備 排除面積 1.31ha 総延長 L=507m 断面 BOX.C □1300×1600
			下水道管理者以外	・
	公助	ソフト対策	下水道管理者	・ 内水ハザードマップ作成・公表
			下水道管理者以外	・

	自 助	ハード 対策		・
		ソフト 対策		・ 地域防災計画（盛岡市危機管理防災課）

備考）事業内容については主な施策について具体的な実施数量を記述

また、下水道管理者以外が行う施策については、道路管理者など実施主体、制度要綱等を具体的に記述

- \* 下水道浸水被害軽減総合事業の要件に該当し、当該事業による制度拡充分に当たる施設の整備を実施する場合には、該当する施設をすべて記載すること（別紙可、下水道浸水被害軽減総合事業の様式を参照）。なお、下水道浸水被害軽減総合計画を策定済みの場合は、その施設調書を添付すること。
- \* 下水道総合地震対策事業の要件に該当し、当該事業による制度拡充分に当たる施設の整備を実施する場合には、該当する施設整備を下水道総合地震対策計画に位置づけること。
- \* 下水道施設の改築（浸水に対する安全度の向上を伴わないもの）を実施する場合には、当該施設の改築を下水道ストックマネジメント計画に位置づけること。（下水道総合地震対策計画に位置づけられている場合を除く）

#### 年度計画（百万円）

名称	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	計
雨水管渠	220	430	430	220	1300
計	220	430	430	220	1300

備考）事業内容に位置づけた施設について年割額（事業費）を記述。

整備済のものは含めない。

項 目	内 容 ・ 施 策 等
整備効果	・ 鴨助堰排水区2号幹線について、雨水排水機能を適切に確保する。（37mm/h、1/8 対応）
放流先河川との調整状況	北上川上流流域関連盛岡市公共下水道事業計画における鴨助堰排水区の雨水計画放流量について、平成5年に放流先である北上川の管理者（国土交通省東北地方整備局）と協議済み。
その他	

